

## 池袋キャンパス AV サポート

### 1. 概要

例年通り 8 号館メディアセンター、5 号館講師控室、および 12 号館講師控室の AV 機器貸出帳および貸し出し予約システムのデータベースより集計し、2013 年度より 3 期にわたり比較した。

サポートは貸し出し予約システムのデータベースの他、常駐員の日報を合わせて集計している。

機器の貸出は「その他」が多いために全体としては増加しているが、これはログを取る精度が増したためで、これまでの貸出機器においては一部を除いて減少している。

2014 年度までは遠隔授業や Mediasite の導入、また大学行事の録画配信と、収録および配信に係るサポートが質量ともに一気に伸びた感があった。2015 年度前半は一旦それらが減少したが後半盛り返し、一応定着化したように見える。2015 年度は新たに 5 号館、7 号館も、8 号館 4 階のメディアセンターで収録できるテレビ会議システムを導入したおかげで、高画質、高音質な収録が可能な教室が増えた。

ダビングはメディア変換依頼書をもとに集計しているが、2014 年より Mediasite のような利用者には URL を知らせるだけの変換方法も増えている。

大学行事や授業に係るサポートも定着化しつつあり、各部局との丁寧な打ち合わせを重ねることで、次年度以降はほとんど「お任せ状態」で遂行している。

## 2. 利用状況

### (1). AV 機器貸出状況

月別にみると6月と11月が最も多く、次に10月、12月と秋学期が続く。今年度は上半期に貸し出しが少なく(1615件)、下半期に集中した(2221件)。授業期間でみると春学期(4月～7月)が1351件、秋学期(9月～1月)が1927件で600件近く多い。

機器別にみると貸出の上位は例年通りノートPCとビデオカメラ、次いでICレコーダー、ワイヤレスマウスとなる。MacやiPadをスクリーンに投影するアダプターも多かった。

ここ3年では最も貸し出しが多い結果となっているが、これはログをとる精度が増したことが大きい。よって、これまでになくて「その他」に分類されたものが多かった。「その他」に含まれるものはSkypeや収録のために必要なオーディオキャプチャーやwebカメラ、液晶モニターといったものである。

機器別にみると例年貸出しの多いノートPCとビデオカメラは、全体では上位だが、例年よりも減少した。一方、ICレコーダー、ワイヤレスマウスはここ数年増加し続けている。今年度は春学期にイベントがほとんどなかったため、ビデオカメラ、マイクといった録画に関する機器が軒並み減少した。またDVDプレーヤーはブルーレイプレーヤーに、書画装置(OHC)はPCに替わりつつあり、これらの利用も減少した。

これまであまり貸出しのなかったデジタルカメラの貸し出しが増えたため、期の途中で業務用を貸し出し用に転用した。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	16.1月	16.2月	16.3月	合計
ノートPC	46	65	131	76	29	30	80	113	76	46	34	58	784
HDカメラ	34	59	100	62	13	20	68	85	77	38	16	35	607
ICレコーダー	2	11	24	27	7	17	40	37	36	20	8	28	257
ワイヤレスマウス	14	15	41	39	7	7	13	32	24	14	8	23	237
Mac備品	2	7	13	12	2	10	29	23	11	23	2	3	137
プロジェクター	9	8	17	9	5	3	13	14	16	14	10	9	127
ポータブルマイクアンプ	6	4	13	14	2	4	7	3	12	5	1	7	78
デジタルカメラ	1	7	3	6	3	6	3	4	6	6	2	12	59
パウンダリマイク	1	2	3	10	1	0	3	1	6	3	5	2	37
HDMI備品	2	4	3	5	3	0	3	3	2	1	1	8	35
VHSデッキ	2	2	2	2	3	7	3	5	1	2	0	0	29
BDプレーヤー	0	0	4	0	0	1	5	8	5	2	2	0	27
Mediasite	1	1	2	2	1	2	4	5	3	2	2	0	25
iPad/iPad備品	1	2	1	4	1	0	1	0	1	2	0	2	15
DVDプレーヤー	0	2	1	3	0	3	0	1	1	0	0	0	11
PC用スピーカー	0	1	3	0	0	0	0	2	0	0	0	0	6
分配器	0	0	2	1	1	0	0	1	0	1	0	0	6
iPod備品	1	0	0	2	1	0	0	1	0	1	0	0	6
その他	44	81	159	110	41	34	126	169	183	169	53	90	1259
<b>貸出総数</b>	<b>166</b>	<b>279</b>	<b>522</b>	<b>384</b>	<b>120</b>	<b>144</b>	<b>402</b>	<b>530</b>	<b>499</b>	<b>352</b>	<b>144</b>	<b>294</b>	<b>3,742</b>

表1：2015年度AV機器貸出(月別)

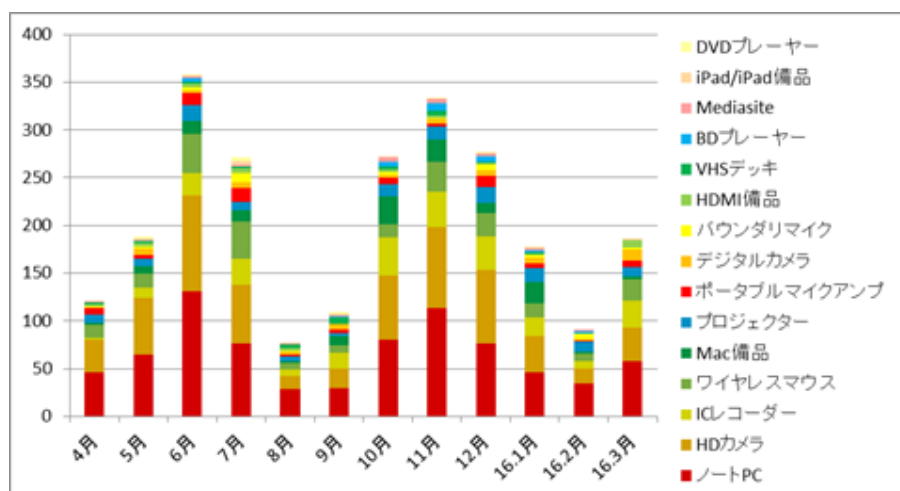


図 1 : 2015 年度 AV 機器貸出(月別)

		ノートPC	ビデオカメラ	ICレコーダー	プロジェクター	マイクアンプ	DVDプレーヤー	BDプレーヤー	OHC	ワイヤレスマイク	スクリーン	ワイヤレスマウス	Mediasite	デジカメ	その他	合計
2013年	前期	535	337	110	70	74	35	3	29	19	19	-	-	-	61	1,292
	後期	355	260	75	85	49	35	0	10	4	43	-	-	-	-	916
	合計	890	597	185	155	123	70	3	39	23	62	0	0	0	61	2,208
2014年	前期	412	339	97	49	35	9	12	0	15	9	95	49	21	338	1,480
	後期	398	374	141	51	35	3	8	-	-	-	132	10	25	489	1,666
	合計	810	713	238	100	70	12	20	0	15	9	227	59	46	827	3,146
2015年	前期	377	288	88	51	43	9	5	-	-	-	123	9	26	469	1,488
	後期	407	319	169	76	35	2	22	-	-	-	114	16	33	790	1,983
	合計	784	607	257	127	78	11	27	0	0	0	237	25	59	1,259	3,471
2013年度比較		-106	10	72	-28	-45	-59	24	-39	-23	-62	237	25	59	1,198	1,263
2014年度比較		-26	-106	19	27	8	-1	7	0	-15	-9	10	-34	13	432	325

表 2 : 貸出機器 3 期比較 (機器別)

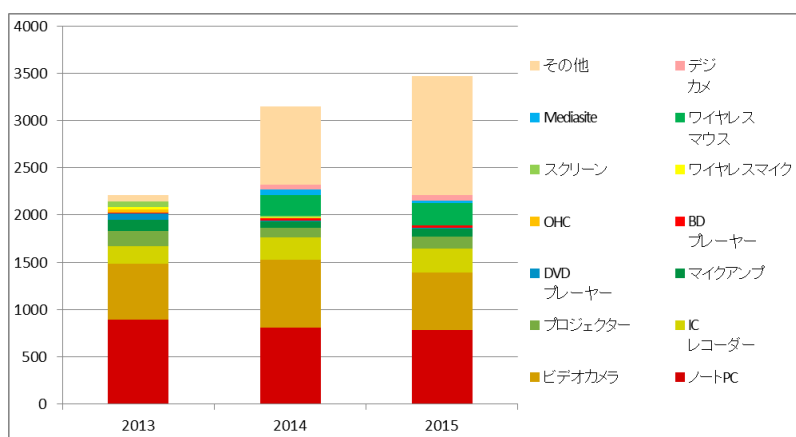


図 2 : AV 機器貸出 3 期比較

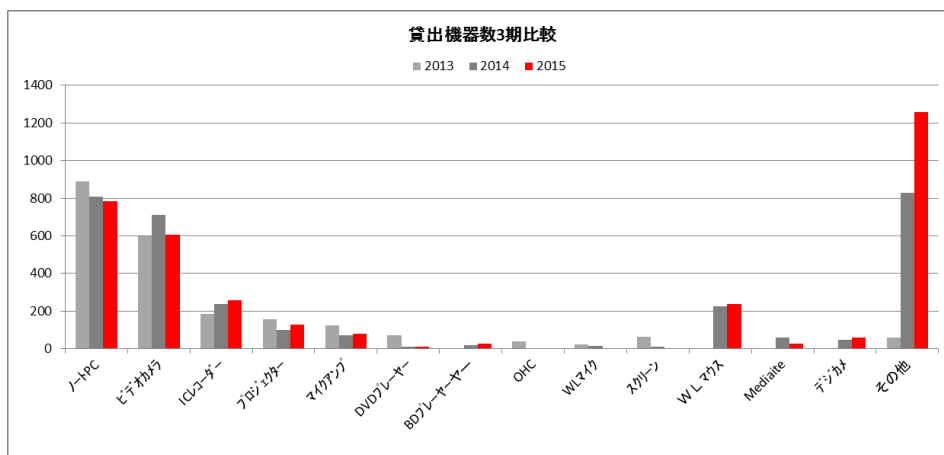


図 3 : AV 機器貸出 3 期比較 (機種別)

## (2). サポート状況

サポート全体では前年度より 5%強 (約 120 件) 減少した。「セッティングおよび使用説明」はほぼ同じだったが、「操作ミス」や「機器トラブル」が減少した。

AV タイプ別では、操作卓は 100 件以上増加しているが、大型ディスプレイタイプでは 80 件近く減少している。20 件減少した簡易操作卓は夏の改修により、それまでトラブルの続いたカード認証システムが是正されたためである。

従来のタイプではない「その他」が 200 件近く増加した。これは会議室や研究室といった教室以外の場所での Skype や TV 会議のセッティングが増加したためである。

	セッティング & 使用説明	操作ミス	機器トラブル	合計
2013年	1364	376	645	2,385
2014年	1637	274	477	2,388
2015年	1646	243	370	2,259
前々年差	282	-133	-275	-126
前年差	9	-31	-107	-129
前年比	100.5%	88.7%	77.6%	94.6%

表 3 : サポート状況 3 期比較

	操作卓	簡易操作卓	AVラック	大型モニタ	PC	その他
2013年	923	226	439	315	47	402
2014年	862	235	557	266	50	381
2015年	974	215	560	187	51	575
前々年差	51	-11	121	-128	4	173
前年差	112	-20	3	-79	1	194
前年比	113.0%	91.5%	100.5%	70.3%	102.0%	150.9%

表 4：サポート状況 3 期比較（AV タイプ別）

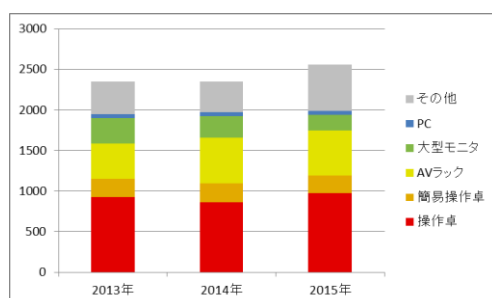


図 4：サポート数比較（AV タイプ別）

機材別にみると、常設 PC、プロジェクター、ビデオカメラは全体としては多いが、前年度と比べると、常設 PC は約 80 件減少、持ち込みを合わせると約 60 件の減少となった。

貸し出し機器と同様、中継録画、Mediasite、ビデオカメラといった録画に関するサポートは 200 件以上減少した。

一方で IC レコーダーは増加した。ラインで録音というパターンが多いためである。

また、これも貸し出し機器と同様、DVD プレーヤー、OHC は利用そのものが減少し、ブルーレイプレーヤーや PC がその替わりをするようになった。

	WL800	WL赤外線	有線マイク	音響	常設	貸出PC	持込PC	その他のIT	プロジェクタ	スクリーン	ブルーレイ	DVD	VHS	OHC	電子ボード	中継録画	Mediasite	DVカメラ	ICレコーダー	その他
2013年	96	17	92	50	620	179	171	38	515	28	90	125	57	158	26	302	-	429	43	202
2014年	59	39	59	27	472	82	132	34	412	46	75	91	59	85	7	335	96	491	46	301
2015年	38	30	62	16	393	143	91	38	405	24	133	42	58	48	7	219	53	443	74	179
前年差	-21	-9	3	-11	-79	61	-41	4	-7	-22	58	-49	-1	-37	0	-116	-43	-48	28	-122
前年比	64.4%	76.9%	105.1%	59.3%	83.3%	174.4%	68.9%	111.8%	98.3%	52.2%	177.3%	46.2%	98.3%	56.5%	100.0%	65.4%	55.2%	90.2%	160.9%	59.5%

表 5：サポート状況 3 期比較（機種別）

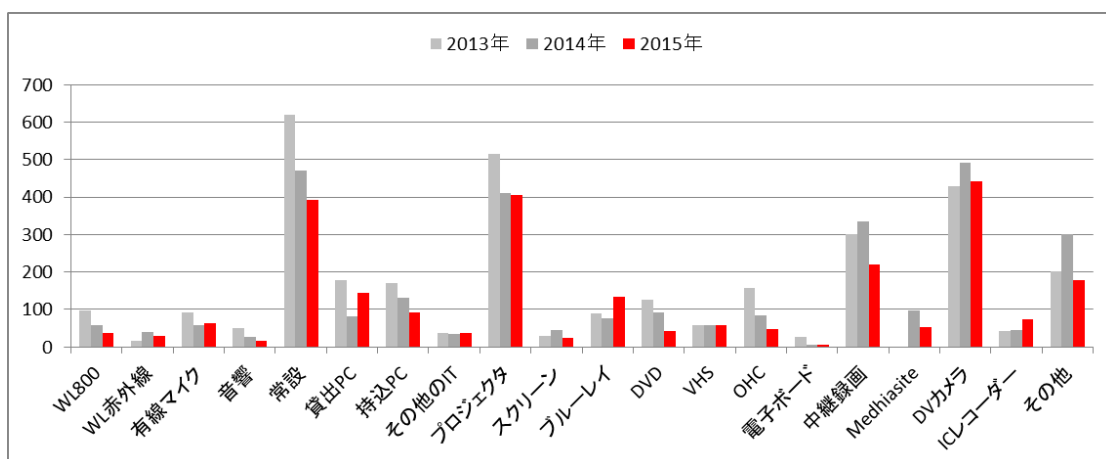


図 5 : サポート数 3 期比較 (機種別)

### 機材トラブル

全体としては昨年より 163 件 (約 40%) 増加した。しかし機器そのものの故障や破損は減少していて、調整で直ったり、再現しないものが 200 件増加した。機材別ではプロジェクターが第 1 位に上がっているが、実際はスイッチャーや制御器に起因することも多い。池袋キャンパスではデジタル化を進めているが、アナログ機器と違い、端末機器の症状 (プロジェクターで投影できない、音声が出ない等) が必ずしも物理的な端末の故障に起因するわけではなく、制御器やスイッチャーのプログラムにあることが多いこと、また症状の発生の仕方が一様でも継続的でもなく、リセットするとしばらくは再現しないこともある。そのため原因特定ができず、修理までに時間がかかることが多くなった。

	機器故障	調節で直る	電源抜け 電池切れ	断線・爪 折れ 破損	再現なし リセットで 復元	紛失他	合計
2013年	180	45	96	100	135	16	572
2014年	154	61	79	95	17	0	406
2015年	141	69	78	63	217	1	569
2013年との差	-39	24	-18	-37	82	-15	-3
2014年との差	-13	8	-1	-32	200	1	163
前年比	91.6%	113.1%	98.7%	66.3%	1276.5%	100.0%	140.1%

表 6 : 機器トラブル 3 期比較

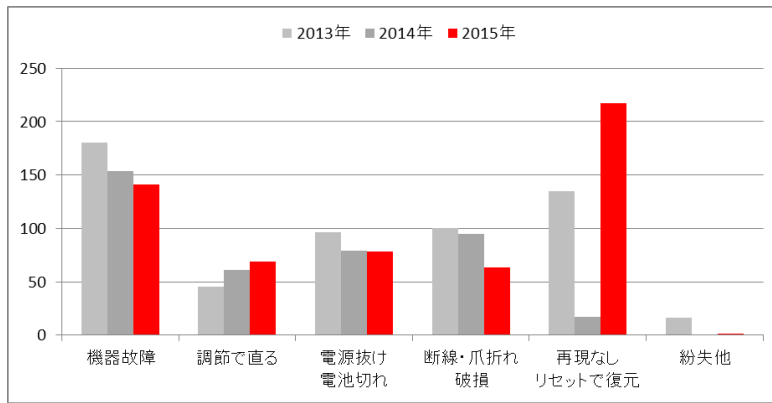


図 6: 機器トラブル3期比較 (内容別)

トラブル	W L T シー タ	W L B O O	W L 赤外線	有線マイク	M A M P	貸出 P C	持込 P C	常設	Mac	その他 P C	プロジェクタ	スクリーン	ブルーレイ	D V D	Marantz	V H S	O H C	H D D カメラ	I C レコーダー	電子ボード	T V 会議	C D	ラップトップ	スイッチャー・制御器	キーボード類	その他機器	中継録画	Mediasite	配信	同通	S K Y P E	操作卓	簡易操作卓	AVラック	大型モニタ	その他ラック
トラブル	0	17	17	9	0	1	7	63	5	11	131	7	28	5	0	13	13	1	0	3	0	2	27	35	59	70	0	0	0	0	0	28	12	17	20	8

表 7: 機器トラブル(機材別)

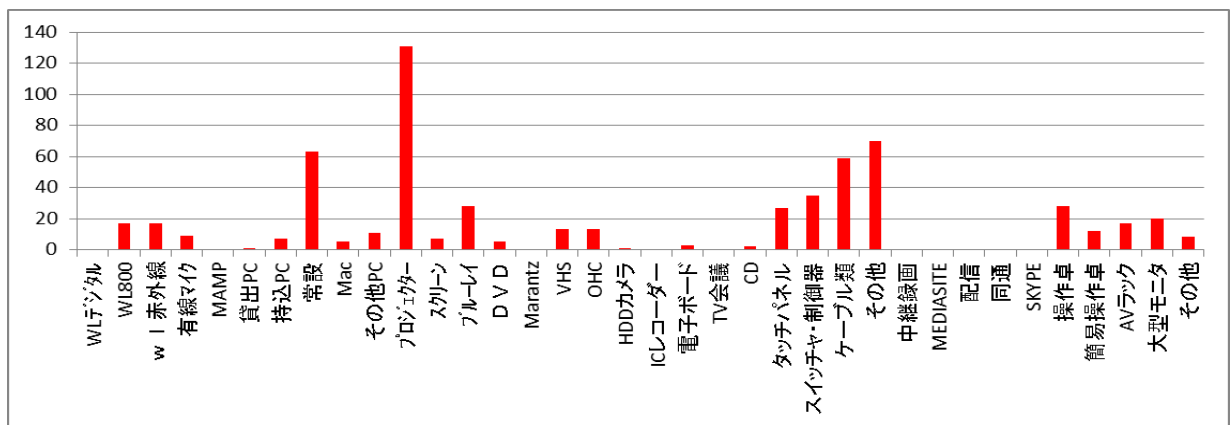


図 7: 2015 年度機器トラブル (機種別)

(3) 操作ミス

前年に比べて約 30 件減少した。常設 PC のミスが最も多いが、前々年度からは約 130 件の減少となり、確実に使用の際の混乱は減少しているといえる。

	WL テレシ タ	WL800	WL赤外線	有線マイク	MAMP	貸出PC	持込PC	常設	Mac	その他PC	フロッピー ディスク	スクリーン	フ ル レ イ	DVD	M a r a n t z	VHS	OHC	HDDカメラ	ICレコーダー	電子ポ ード	TV会議	CD	タ ブ レ ット	ス イ チ ャ イ ・ 制 御 器	キー ボ ー ド 類	その他機器	中 継 録 画	M e d i a s i t e	配 信	同 通	S k y p e	操 作 卓	簡 易 操 作 卓	AVラッ ク	大 型 モ ニ タ	そ の 他 ラ ッ ク
操作ミス	0	2	0	1	0	1	16	90	13	6	24	5	32	13	3	4	3	0	0	0	3	4	4	0	3	4	0	0	0	0	0	11	3	11	13	0

表 8 : 2015 年度操作ミス (機種別)

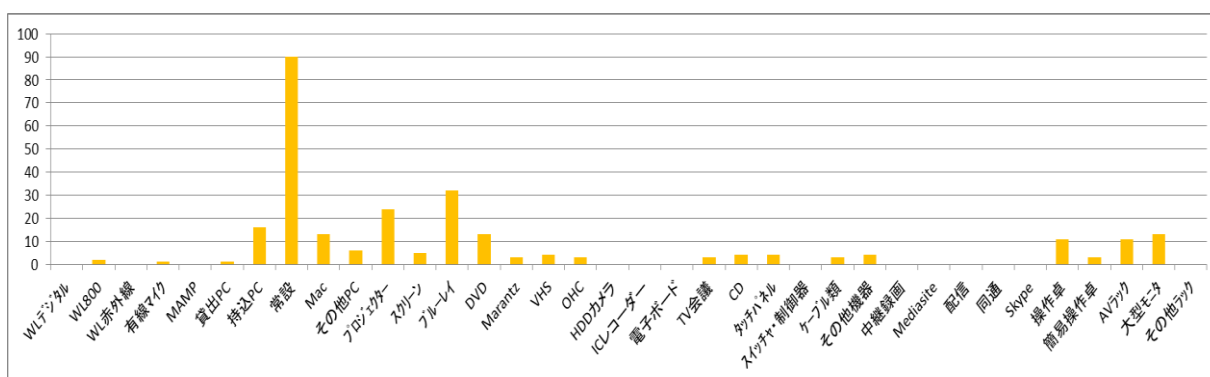


図 8 : 2015 年度操作ミス (機種別)



(5) 使用説明またはセッティング

「使用説明またはセッティング」数に関してはほぼ前年と同じである。前期のサポート数は少なかったが、後期になって録画依頼が増えたので、トータルとしては同じ結果となった。

	W L テ レ シ ョ ウ	W L 8 0 0	W L 赤 外 線	有 線 マイ ク	M A M P	貸 出 P C	持 込 P C	常 設	M a c	そ の 他 P C	フ ロ ン ト パ ネ ル	ス タ リ ン グ	フ ル レ イ	D V D	M a r a n t z	V H S	O H C	H D D カ メ ラ	I C レ コ ー ダ ー	電 子 ボ ー ド	T V 会 議	C D	タ ッチ パ ネ ル	ス リ ー 御 器 ・ 制	キ ー ボ ー ド 類	そ の 他 機 器	中 継 録 画	M e d i a s i t e	配 信	同 通	S k y p e	操 作 卓	簡 易 操 作 卓	A V ラ ッ ク	大 型 モ ニ タ	そ の 他 ラ ッ ク
セッティング&使用説明	0	15	10	47	34	139	64	221	19	18	238	12	68	21	13	41	29	440	74	3	69	8	1	2	11	69	218	53	29	14	48	54	6	32	10	11

表 9：2015 年度セッティング&使用説明（機種別）

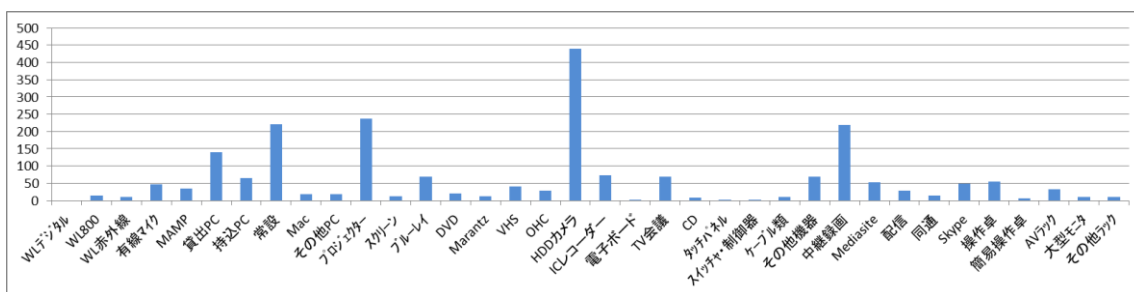


図 9：2015 年度セッティング&使用説明（機種別）

(6) システム利用状況

プロジェクター監視システムは2015年度より新たに、ワイヤレスマイクの充電状況が確認できる機能(WatchMic)を追加、また、ICカード管理システムと統合したFomsとしてスタートした。2015年も2014年と同様利用は増加した。

	2013年	2014年	2015年	前年比
前期	45,043	47,853	49,846	104.2%
後期	38,217	39,544	40,676	102.9%
合計	83,260	87,397	90,522	103.6%

表 10 : AV システム利用状況 (Foms による)

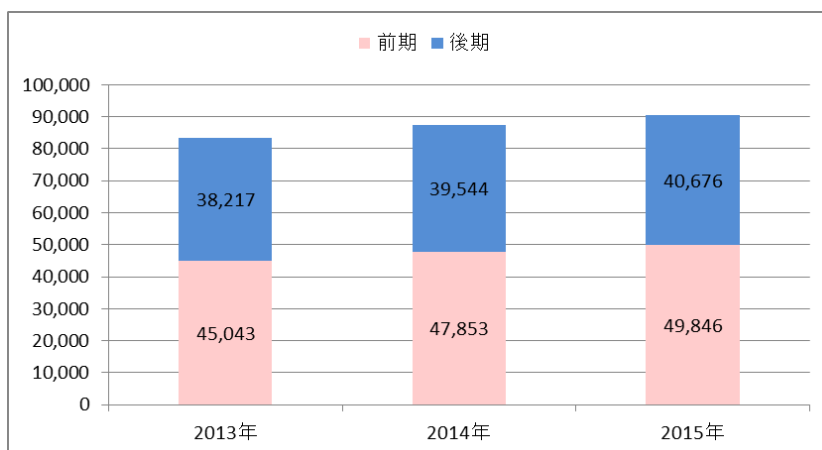


図 10 : AV システム利用時間 3 期比較

(7) ダビング

録画依頼数が減少したため、ダビング数も減少した。

DVD 作成依頼の多かったキャリアセンターの講演会収録は、web にアップロードするコンテンツの作成のみとなったため、DVD の作成は減少した。

ダビング元については中継録画が最も多く、次いで DV カメラ、IC レコーダーとなり、これは前年と変わらなかった。

① 受付数 (ダビング元)

	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月		合計	
	受付数	作成数	受付数	作成数	受付数	作成数	受付数	作成数	受付数	作成数	受付数	作成数	受付数	作成数	受付数	作成数	受付数	作成数	受付数	作成数	受付数	作成数	受付数	作成数	受付数	作成数
授業	10	30	18	45	32	82	26	56	0	0	0	0	47	71	42	63	38	54	21	26	0	0	0	0	234	427
授業外	21	52	30	81	43	78	24	40	9	13	9	24	33	51	41	63	42	151	32	46	14	28	41	89	339	716
合計	31	82	48	126	75	160	50	96	9	13	9	24	80	122	83	126	80	205	53	72	14	28	41	89	573	1143

表 11 : 2015 年度ダビング受付および作業数

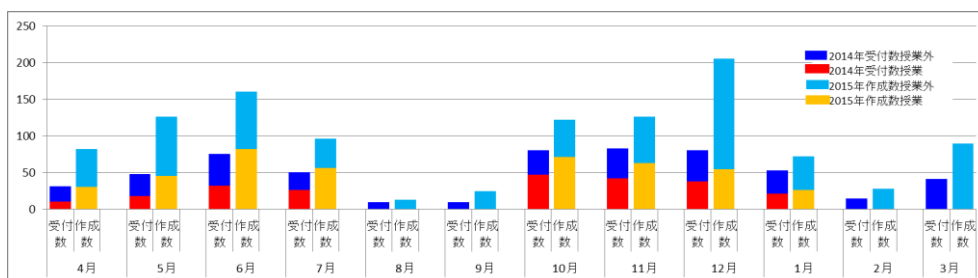


図 11 : 2015 年度ダビング受付および作業数 (月別)

	中継録画		DVカメラ (HDD)		ICレコーダー		DVカメラ (SD)		DVD		VHS		CD		HDD(保存)		TV録画		USB		その他		合計	
	2014	2015	2014	2015	2014	2015	2014	2015	2014	2015	2014	2015	2014	2015	2014	2015	2014	2015	2014	2015	2014	2015	2014	2015
授業	120	113	85	91	8	3	20	1	6	4	7	1	1	0	3	0	0	0	0	0	3	0	253	234
授業外	106	88	94	97	60	56	26	11	27	17	28	26	8	3	24	6	12	7	1	2	6	8	392	339
合計	226	201	179	188	68	59	46	12	33	21	35	27	9	3	27	6	12	7	1	2	9	8	645	573

表 12 : ダビング元 2 期比較

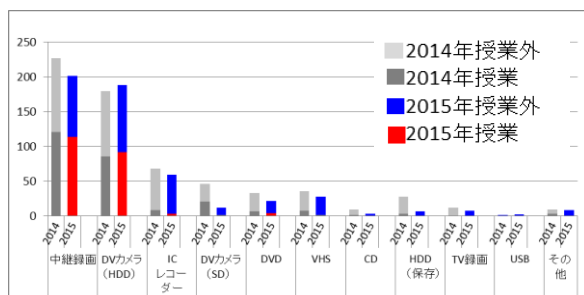


図 12 : ダビング元 2 期比較

② 作成数

	DVD-R		CD-R		USB		その他		合計	
	2014	2015	2014	2015	2014	2015	2014	2015	2014	2015
授業	417	354	12	2	30	48	11	23	470	427
授業外	676	478	255	163	9	22	39	53	979	716
合計	1093	832	267	165	39	70	50	76	1449	1143

表 13：メディア変換 2 期比較

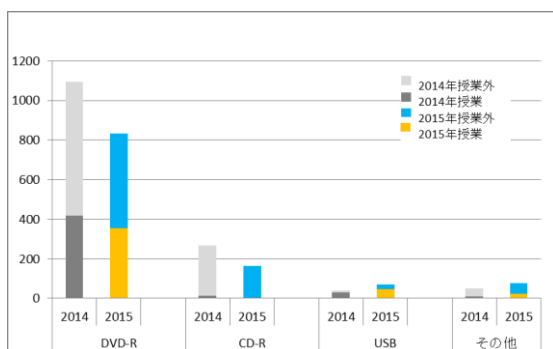


図 13：メディア変換 2 期比較

	受付数			作成数		
	2014年	2015年	前年比	2014年	2015年	前年比
授業	253	234	92.5%	470	427	90.9%
授業外	392	339	86.5%	979	716	73.1%
合計	645	573	88.8%	1449	1143	78.9%

表 14：ダビング 2 期比較

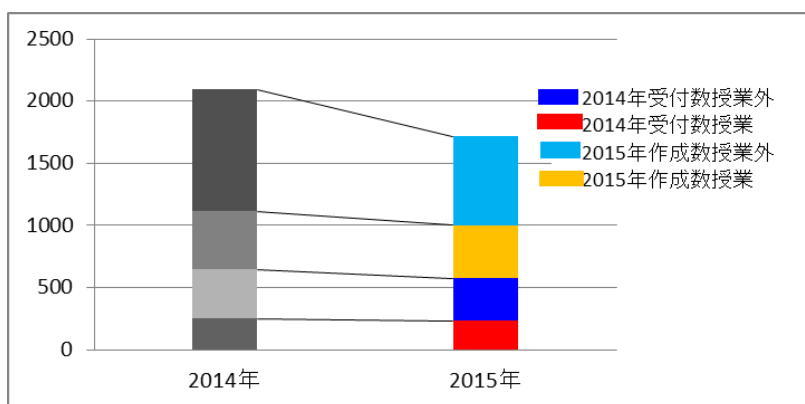


図 14：ダビング 2 期比較

### 3. 2015 年度大学行事

主な大学行事のサポート一覧を記載する。

実施日	依頼者	目的	内容
4月1日	教務課	学生証交付	教室システム起動、OHC投影
4月1日	全カリ事務室	プレイスメントテスト	CDラジカセライン接続
4月4日、6日	総長室教学連携課	入学式	芸術劇場にて収録
4月4日	総務課	大学院入学式	チャペル内録音
4月4日	独立研究科事務室	独立研究科入学式	チャペルから1202教室への中継
4月7日	人事課	新入職員オリエンテーション	収録および同時通訳システムセット
4月1日～9日	学生部、各学部事務	新入生オリエンテーション	プロジェクター設置、中継等
5月23日 6月20日、27日	総長室教学連携課	首都圏教育懇談会	プロジェクター設置、AV機器操作
6月13日	教務課	英語単位認定試験	リスニングテスト用CD作成、CDラジカセライン接続
7月21日～31日	教務課	春学期末試験	マイク設営、CDラジカセライン接続
8月5日～7日	入学センター	オープンキャンパス	Mediasite収録、配信他
9月18日	総務課	大学院秋季卒業式、入学式	マイク設営、録音
9月18日	独立研究科事務室	独立研究科特別卒業式	チャペルから1202教室への中継
10月31日～11月2日	学生部	SPF	機材貸出、利用支援
11月21日、22日	入学センター	秋季入試	マイク設営
11月14日	教務課	英語単位認定試験	リスニングテスト用CD作成、CDラジカセライン接続
12月5日、12日	全カリ事務室	英語力伸長度測定テスト	マイク設営、CDラジカセライン接続
12月3日	学生部	点灯式	音響設営補助
12月8日	学生部	キャロリング	池袋西公園に音響機材設置
12月24日	チャペル事務室	クリスマス・イブ礼拝	マイク設営
1月16日	学生部	体育会総会	タッカーホールから8号館3教室へ中継
1月25日～2月3日	教務課	秋学期末・学年末試験	マイク設営、CDラジカセライン接続
2月3日～14日	入学センター、学生部	入学試験	マイク設営他会場設営
2月15日～	キャリアセンター	合同企業説明会	プロジェクター設置、中継等
3月22日～24日	総長室教学連携課	卒業式	タッカーホールでの収録、8号館への中継
3月24日	総務課	大学院卒業式	録音

表 15：2015 年度サポート大学行事一覧

#### 4. 2015年度のまとめ

一見前年度に比べれば、機器貸出もサポート数も減少しているので、機器の利用が減少したかのように見えるが、実際は高い水準で利用されている。プロジェクターの利用率が年々増加していることから、AV 機器の利用の高さが伺われる。最も利用の高い使用法はPCの画をスクリーンまたはディスプレイに投影することだが、全教室にPCが設置されているものの、シンクライアントのシステムのために、接続方法等は利用者には負担になることが多い。漫画での使用方法の表示や英語マニュアルの設置、接続方法の工夫等により、設置当初に比べれば随分負担は軽減されている声が聞かれる。

一方授業以外の利用、とくにTV会議やSkypeなどネットワークを利用した機器サポートは前年に引き続き、増加している。

前年度の卒業式から始まった式の模様を収録、配信する作業はそのまま今年度の入学式、卒業式へと展開されたが、いずれも好評を博している。

Skypeも授業、入試、教員採用と多岐にわたって利用されている。しかし、後期はネットワークの逼迫のため、通信がうまくいかないことがあった。安定したネットワーク会議の導入も検討したいところである。また設置のための機材が多く設置時間を要するため、できれば専用の部屋があることが望ましい。

毎日の点検のおかげでワイヤレスマイクの充電や機器の破損に関するトラブルの減少と、機器の清掃や備品の整備は行えている。しかしデジタル化に伴い、再現しない一過性の不具合や、原因が特定できない障害が増えている。